

話しことばにおける否定を含む表現の使用をめぐって

野田春美（神戸学院大学）

1. はじめに

- ・日本語には否定文以外にも否定辞を含む表現があり、頻繁に使われるものもある。
⇒話しことばにおける使用傾向を2.で概観し、よく使われる表現について3.と4.で使われ方を見る。5.で対照研究にふれ、6.でまとめを述べる。

2. 日本語の話しことばにおける否定を含む表現の使用傾向¹

表1 3コーパスにおける否定を含む表現の出現状況（2%以上の分類のみ）²

現日研・職場談話コーパス			名大会話コーパス		
分類	件数	割合	分類	件数	割合
基本 ³	2630	69.8%	基本	18647	74.4%
「のではないか」	273	7.2%	「のではないか」	1567	6.3%
語内・慣用	212	5.6%	評価（必要）	1069	4.3%
「じゃないか」	198	5.3%	語内・慣用	970	3.9%
評価（必要） ⁴	196	5.2%	「じゃないか」	855	3.4%
「かもしれない」等 ⁵	108	2.9%	「かもしれない」等	843	3.4%
（他にも含めた）計	3769	—	（他にも含めた）計	25061	—

日本語日常会話コーパス ⁶		
分類	件数	割合
基本	18507	73.3%
「のではないか」	1887	7.5%
語内・慣用	1279	5.1%
「じゃないか」	1032	4.1%
評価（必要）	929	3.7%
「かもしれない」等	661	2.6%
（他にも含めた）計	25257	—

〔使用傾向の概観〕

3コーパスの使用頻度の上位6種類は同じであり、順位や割合も類似している。場面等が異なる3コーパスでの結果が類似していることから、話しことばにおける否定を含む表現の使用傾向を示していると考えられる。

¹ 国立国語研究所のサイトで公開されているデータベースを利用し、中納言 2.4.2 を用いた短単位検索を行った。語彙素「ない」「ず」「無い」で検索し、誤解析や意味が不明なもの等を除いた。

² 「職場談話」「名大会話」の2コーパスの調査結果は野田（2022）を元に、「ではないか」類に含めていた「じゃん」「やん」を除いた数値である。

³ 形容詞「ない」も含む。なお、否定疑問文は他の分類との関係が複雑になるため集計していない。

⁴ 「なきゃいけない」のように否定辞2つを含んだ形は合わせて1つとして集計している。

⁵ 評価以外のモダリティ形式で、否定辞を含んで固定化した形式。ほとんど「かもしれない」である。

⁶ モニター版（100時間、267会話）の調査結果を元に、本公開版（転記テキスト・映像・音声）で確認したもの。今回のテーマ以外のデータは映像確認が不十分であり、多少の誤差が見込まれる。

[「日常会話」の「語内・慣用」1279例の内、多い表現]

「すみません」556、「しょうがない」195、「なんとなく」103、「申し訳ない」68

[表1以外の分類(2%未満)]

評価のモダリティ形式⁷(不必要「なくてもいい」、許容「てもかまわない」、非許容「ちやいけない」等)、「いけない」類(「それはあかん」等)、「のだ」の否定、評価・「のだ」以外のモダリティ形式の否定(「わけじゃない」等)、否定依頼・禁止(「～ないで」等)、依頼・勧誘(「～てくれないか」等)、後悔(「なきやよかった」等)、二重否定

[地域差・個人差に関わる「じゃん」「やん」問題]

- ・上位に入っている「じゃないか」については、対象とする範囲の問題がある。

表2 「じゃん」「やん」を含むか否かによる数値の違い

	職場談話	名大会話	日常会話
「じゃん」「やん」含まない(表1の数値)	198	855	1032
「じゃん」「やん」含む	333	3829	3681

- ・名大会話コーパスの「じゃん」「やん」には標準語の「じゃないか」と使われ方が異なるものも含まれており、全てを含めるのは問題がある。
- ・しかし、次のように「じゃないか」と同じような使われ方の例も多い。

- (1) IC04 レシピ見た。
- IC02 見てない。
- IC04 あ。
- IC04 すごいじゃん。
- IC03 その割にはすごいじゃない。

(「日常会話」⁸会話 ID: T016_002 家族の夕食時の会話)

- ・「日常会話」において「じゃん」の使用数の多い上位5会話のうち4会話は同一の協力者(20代、男性、学生)⁹の複数の場面である。個人別でも最も使用が多い(122回)。
⇒確認要求表現、さらに他の表現にも、使用に個人差が大きいものがある可能性がある。

3. 「じゃないか」「のではないか」の使用をめぐって

3-1 「じゃないか」「のではないか」の用法の確認

[蓮沼(1995)による「じゃないか」の対話における確認用法の分類]

1 〈共通認識の喚起〉

- (2) 同級生に加藤さんっていたじゃない。背の高い男の子。(蓮沼(1995) p.393)

⁷ 高梨(2010)を参考に、「必要」「不必要」「許容」「非許容」に分類し、「後悔」は別に分類している。

⁸ 以下、会話文中の転記タグは、母音の引き延ばしを表す「:」以外は基本的に省略している。

⁹ 福原(2010)が指摘する下降調の「じゃん」の用法の変化という要因も関係している可能性がある。

2 〈認識形成の要請〉

(3) だから言ったじゃないの。あの人には気をつけなさいって。 (同 p. 394)

3 〈認識生成のアピール〉

(4) [開けてみたら中身が空なのを確認して]

なんだ、空っぽじゃないか。 (同 p. 396)

[日本語記述文法研究会 (編) (2003) による「のではないか」の性質と分類]

・「話し手の判断が未成立ながら一定の方向性をもっていることを表す」(p. 179)

1 「話し手の推量判断を聞き手に伝える、情報提供的な用法」(p. 180)

(5) A 「佐藤も来ると思う？」

B 「ああ、たぶん来るんじゃないか」(日本語記述文法研究会 (編) (2003) p. 180)

2 「話し手の推量判断を示しつつ、同時に、聞き手はどう思うかということをおかしているニュアンス」(p. 180)

(6) A 「たぶん、明日は雨が降るんじゃないか？」

B 「そうだね。この分じゃ、降るかもしれないねえ」 (同上)

3 「話し手の推量判断の妥当性を聞き手に確認する用法」(p. 180)

(7) A 「君は嘘をついているんじゃないか？」

B 「いや、嘘なんてついてないよ」 (同上)

⇒いずれの分類も連続的であり、話しことばの実例をこれらに分類するのは困難である。

[「じゃないか」「のではないか」に共通する性質]

・いずれも、肯定命題を言うために否定命題の形で示している点で、間接的と言える。

3-2 「じゃないか」に対する聞き手の反応

・「日常会話」で「じゃないか」の後に話し手の発話が続かない場合(892例)の聞き手の反応を、大まかに「肯定的、否定的、どちらでもない」に分類すると、7割以上が次のように肯定的なものであった¹⁰。「じゃないか」によって認識を喚起されたり要請されたりした聞き手が肯定的な反応を返し、会話が協調的に進行している。

(8) IC04 研究者も言ってみれば研究分野のオタクなわけじゃないっすか。

IC02 まあまあまあそりゃそうだよな。

IC04 こ:んなてんとう虫がこんななった:みたいな変態じゃないっすか。

IC02 まあ そうだよな。

(「日常会話」会話 ID: T001_014 友人同士の飲み会)

・聞き手の否定的な反応が続く例は 5.7%に過ぎず、多くは1会話に1回のみ、2回が5会話、3回が3会話のみである。親しい仲で事実の誤認を指摘する次のような例が多い。

¹⁰ 「じゃん」は話し手が話を続けることが比較的多い。上昇調でないことも多く、聞き手の肯定的な反応は6割程度とやや少ない。「じゃないか」に比べて軽い認識喚起に使われやすい可能性がある。

(9) IC01 一回も来たことないわけじゃないじゃな:い。

IC02 一回も来たことないよ?

IC01 んなことないじゃな:い。

IC02 いやー。

IC02 ほんとだよ。

(「日常会話」 会話 ID : C002_013a 福祉施設にいる母と訪問した娘の会話)

3-3 「のではないか」¹¹による思考引用

・「のではないか」が情報提供か情報要求かは曖昧である。「(い) いんじゃない」が多い。

(10) IC02 で きょうはどうする?。

IC01 まあま別のことすればいんじゃない?

IC02 天気はだいじょぶだっけ。(「日常会話」 会話 ID : K002_014 夫婦の会話)

・「日常会話」では「のではないか」の9.4%が思考の引用である。「職場談話」では17.6%で、「会議・打ち合わせ」の場面に多い。情報提供か情報要求かを明示する必要がある場面では、思考引用にすることで情報提供であることを明示しているものと考えられる。

(11) IC01 なんか何げに板挟み状態になってるんだったらただなんだか違うんじゃないかな:とは思うけど。

IC02 うーん。(「日常会話」 会話 ID : K003_005 友人同士の雑談)

(12) F17A まあ、仮に、それが実現すればー、あの一、広告ーがまあ、ちょっと広告が取れるかどうかってのはあれですけども、まあ、ゆくゆく、広告があの一、今回取れなくても、将来的にとれるとか、あの一、いい方向ってゆうか、いい関係ができるんじゃないかと思うので、なるべくあの一、そうゆう協力態勢を、しいてやっていくってゆうふうなことを、あの一、中心に据えたほうがいいんじゃないかなと思います。

(「職場談話」 会話 ID : F17K011 小会議)

4. 「なきやいけない」類をめぐって

4-1 「なきやいけない」類¹²の性質

[評価のモダリティにおける位置づけ]

・高梨(2010)の、評価のモダリティ形式の意味による4分類の内、〈必要妥当系〉には、「{と/ば/たら}いい」、「ほうがいい」「べきだ」、「なくてはいけない」「必要がある」、「ざるを得ない」「ないわけにはいかない」「しかない」、「ものだ」「ことだ」がある。

¹¹ 名詞やナ形容詞語幹の場合、「の」を介さない「時間じゃない?」のような形でも、「のではないか」と同様の意味を表すことがあるため、文脈や映像で確認のうえ、「のではないか」として集計している。

¹² 「なくてはいけない」「なければならない」等を含むが、用例数の多かった形を代表形としている。

- ・森山（1992）は、選択の余地があることを前提として妥当性を述べる「べきだ」「方がいい」等を「妥当性判断系」、選択の余地はなく、ある種の必然的な状況を表す「しなければならない」を「必然判断系」と呼び、妥当性判断系では一人称主語を取りにくいことを説明している。

【「なきゃいけない」類の使われやすさ】

- ・「なきゃいけない」類は、「規則、法律、自然のしくみなどにおいてその事態が必要であることを述べる」（日本語記述文法研究会（編）（2003）p.109）ことが特徴とされるが、日常的に多く使われていると感じられる。森山（1992）に基づけば、話し手の判断を前面に出さず、必然的な状況として述べる形だからだと考えられる。
- ・高梨（2010）は、「なくてはいけない」の意味領域の広さを考慮したうえで、基本的意味を「当該事態が実現しないことが許容されないことを表す」（p.81）とする。
- ・井島（2013）は、当為表現には現実の世界で発話時に話し手が聞き手に義務や許容を付与する〈付与〉と、当該の義務や許容の存在を判断する〈判断〉の二系列があるとしたうえで、「なければならない」が義務を付与する用例は「極めて稀である」（p.147）という。井島（2013）は小説の会話文を対象とし、「なければならない」の形のみを見ているが、今回は「日常会話」コーパスを対象に「ないと」等の形も含めて調査を行った¹³。

4-2 「なきゃいけない」類の使われ方

表3 日本語日常会話コーパスにおける「なきゃいけない」類の人称と形

	文末				文末以外	引用類	計	割合
	断言	「ね」類	認識他 ¹⁴	疑問				
一人称	86	17	11	27	75	63	279	32.1%
一・二人称	94	38	9	26	40	21	228	26.2%
二人称	64	8	1	11	11	10	105	12.1%
三人称	14	7	6	5	14	13	59	6.8%
一般	46	6	8	23	37	32	152	17.5%
主体なし	13	4	7	8	6	8	46	5.3%
計	317	80	42	100	183	147	869	—
割合	36.5%	9.2%	4.8%	11.5%	21.1%	16.9%	—	—

- ・非実現が非許容であるという状況をふまえて行動を起こす場合等によく使われている。

(13) IC02 でも もう僕行かなきゃいけないので。[一人称、文末以外]

(「日常会話」会話 ID : T002_006c 友人同士の雑談)

¹³ 前半は「ないと」「なきゃ」「なくちゃ」「なければ」「な」、後半は「あかん」「いかん」「いけない」「ならない」に加え、「だめだ」も「いけない」に置き換えられる場合は入れている。後略も含む。表1の評価（必要）929例から「ざるをえない」「しかない」「ないわけにはいかない」を除く869例である。

¹⁴ 「かもしれない」のような認識のモダリティ形式等を伴うもの。

(14) IC02 でも設営は決めないといけないでしょ?。[一・二人称、文末疑問]

IC01 そうです。

IC01 きょう決めちゃわなきやいけない。[一・二人称、文末断言]

IC02 そうだよね?。 (「日常会話」会話 ID : T007_017 地域活動の役員会)

- ・「なきやいけない」類 869 例中、後略の形は 32.8%だが、文末の断言に限ると 58.4%、さらに二人称主体の 64 例に限ると、75.0%が後略の形であった。

(15) IC02 両手でやんないと。 (「日常会話」会話 ID : T011_009 父親が息子に)

- ・文末の断言で二人称主体で後略でない 16 例は、「～だめだ」9 例、「のだ」を伴うもの 5 例、「なあかん」1 例、主体が二人称に限定されるかの判断が難しいもの 1 例である。つまり、後略でない形の言い切りで二人称主体の行為の実行を促す例はほとんどなかった。

5. 関連する問題 —日本語とフランス語の漫画における否定を含む表現の比較—

[調査方法と結果の概要]

- ・日本語の漫画 3 冊とそのフランス語訳における、否定形式を含む表現の比較を行った。
- ・日本語のみに否定表現が現れた例より、フランス語訳のみに現れた例のほうが多い。

表 4 3 作品全体の否定表現¹⁵とフランス語訳の対応と非対応

日本語の否定表現 460	138	(フランス語の否定表現なし)
	322	フランス語の否定表現 567
(日本語の否定表現なし)	245	

(野田 (2018))

表 5 フランス語訳のみ否定表現になっている場合

	アオハライド	四月は君の嘘	リアル	計
否定的語彙→否定	56	24	17	97
上記以外 (接辞、反語等)	2	3	5	10
【日本語の否定的な表現の小計】	58	27	22	107
情報の補足による否定の出現	6	32	16	54
通常肯定→否定	16	13	16	45
確認要求→付加疑問	10	3	8	21
上記以外	3	8	7	18
【そのほかの表現の小計】	35	56	47	138
計	93	83	69	245

(野田 (2018) の表を簡略化)

¹⁵ 禁止の「な」も含む等、2. の調査とは対象や分類が異なる点がある。

[日本語の否定的語彙がフランス語訳で否定になっているケース]

・日本語記述文法研究会（編）（2007）が「語自体に否定の意味が含まれ、副詞との共起などの点で、否定と似た性質を持つ語」（p. 283）として挙げる次の5種類の例が見られた。

1. 実現が困難であることを表す語（「無理だ」「～がたい」「～かねる」）
2. 不一致・逆を表す語（「違う」「別だ」「逆だ」）
3. 欠如を表す語（「からっぽだ」「忘れる」「消える」「失う」等）
4. マイナス評価を表す語の一部（「だめだ」「下手だ」等）
5. 懸念を打ち消す語（「平気」「大丈夫」）

(16) やっぱ無理かっ————!! (『リアル1』p. 54)

Alors, je ne peux vraiment rien faire ?!

(直訳：ああ、俺は本当に何もできない?!)

(17) 大丈夫よー (『リアル1』p. 218)

Ne vous inquiétez pas. (直訳：心配しないで。)

・「平気」「大丈夫」は、相手の懸念を打ち消すという意味で否定の意味を含む。野田（2000）でも、幅広い世代で「ぜんぜん」との共起が許容されやすいという調査結果が示されている。近年、自分に利益のある申し出を断る際に「けっこうです」等に代わって「大丈夫です」が多用されているが、「大丈夫」の否定的な性質を考えると自然な流れである。

・上記の5種類以外にも、マイナス評価の語彙が否定表現に訳されているケースがある。

(18) え——8番落ちたの? (『四月は君の嘘1』p. 123)

Quoi ? Le huit n'est pas passé ? (直訳：え？ 8番は合格しなかったの?)

[フランス語訳における情報の補足によって否定が出現しているケース]

・日本語では言語化されていないが、翻訳の際に否定的な意味が表面化している例がある。

(19) 男子なんかとはちょっと… (『アオハライド1』p. 8)

Je n'ai pas envie de me mêler aux garçons.

(直訳：私は男子の中に混じりたくない。)

6. おわりに

まず、話しことばにおける、否定文以外の否定辞を含む形の使用傾向を見た。「じゃないか」「のではないか」は間接的な表現として、認識を喚起・要請したり推量判断を述べたりするのに使われている。「なきやいけない」類は非実現の非許容という状況をふまえて、一人称、一人称・二人称が行動を起こす際等によく使われている。いずれも話し手の判断を前面に出すことを避ける方向の、否定表現の使用である。一方、漫画におけるフランス語訳との比較を見ると、日本語では直接的に否定を明示する表現は避けられる傾向が見える。

5. の調査資料

- 『アオハライド 1』、咲坂伊緒（作）、集英社、2011
Blue spring ride 1、Misato Raillard（訳）、Kana、2013
『四月は君の嘘 1』、新川直司（作）、講談社、2011
Your lie in April 1、Géraldine Oudin（訳）、Koon、2015
『リアル 1』、井上雅彦（作）、集英社、2001
Real 1、Thibaud Desbief（訳）、Kana、2005

参考文献

- 井島正博（2013）「当為表現の構造と機能」『日本語学論集』9 pp. 133-173 東京大学大学院
人文社会系研究科国語研究室
- 現代日本語研究会（編）（2011）『合本 女性のことば・男性のことば（職場編）』ひつじ書
房
- 小磯花絵・天谷晴香・居關友里子・臼田泰如・柏野和佳子・川端良子・田中弥生・伝康晴・
西川賢哉・渡邊友香（2023）『日本語日常会話コーパス』設計と特徴『国立国語研究所
論集』24 pp. 153-168
- 高梨信乃（2010）『評価のモダリティ—現代日本語における記述的研究—』くろしお出版
日本語記述文法研究会（編）（2003）『現代日本語文法 4 第 8 部 モダリティ』くろしお出
版
- 日本語記述文法研究会（編）（2007）『現代日本語文法 3 第 5 部 アスペクト・第 6 部 テ
ンス・第 7 部 肯定』くろしお出版
- 野田春美（2000）「「ぜんぜん」と肯定形の共起」『計量国語学』22-5 pp. 169-182 計量国語
学会
- 野田春美（2018）「日本語の漫画とフランス語訳における否定表現の異同」『人文学部紀要』
38 pp. 51-66 神戸学院大学人文学部
- 野田春美（2020）「会話における否定表現の使用傾向」『社会言語科学会第 44 回研究大会発
表論文集』pp. 62-65
- 野田春美（2022）「話し言葉における「ではないか」と「のではないか」の使用傾向」『人
間文化』52 pp. 1-15 神戸学院大学人文学会
- 蓮沼昭子（1995）「対話における確認行為—「だろう」「じゃないか」「よね」の確認用法—」
仁田義雄（編）『複文の研究（下）』pp. 389-419 くろしお出版
- 福原裕一（2010）「フェイス・ワークとディスコース・マーカ―の用法拡張—文末表現「じ
ゃん」の分析を例にして—」『ヒューマン・コミュニケーション研究』38 pp. 159-172 日
本コミュニケーション学会
- 藤村逸子・大曾美恵子・大島ディヴィッド義和（2011）「会話コーパスの構築によるコミュ
ニケーション研究」藤村逸子・滝沢直宏（編）『言語研究の技法：データの収集と分析』
pp. 43-72 ひつじ書房
- 森山卓郎（1992）「価値判断のムード形式と人称」『日本語教育』77 pp. 53-72